

平成30年度事業計画

(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

<はじめに>

政府によると、平成29年度の日本経済は、アベノミクスの推進により、雇用・所得環境の改善が続く中で、緩やかな回復基調が続いているとしており、持続的な経済成長の実現に向け、「生産性革命」と「人づくり革命」を車の両輪として、少子高齢化という最大の壁に立ち向かうため、平成29年12月8日に「新しい経済政策パッケージ」を閣議決定しました。

また、兵庫県知事は新春メッセージにて、後も活力に満ちた兵庫であり続けるため、人口減少、少子高齢化に適応しながら、新たな価値観や県民が求める多様な生き方、働き方に対応できる地域を創っていくと述べられています。

この事を受けて、平成30年度シルバー人材センター関係の国の予算については、運営費補助が微増、高齢者活用・現役世代雇用（サポート事業）が13%増となる見込みです。

又、篠山市の補助金は昨年同等となります。従って、来年度も当センターは、篠山市の補助金及び国の運営補助及び高齢者活用・現役世代雇用（サポート事業）を活用して事業展開を図ります。

当センターは平成30年度の最重要課題として、会員確保、就業の確保、生活支援等女性会員の拡大、職群班の増強を図り、シルバー人材センター会員の活動が、基本理念「自主・自立、共働・共助」のもと、地域の発展に一層寄与できるよう取り組みます。同時に、会員の安全就業の徹底と適正な受託と就業へ取り組みます。その為に、会費や保険金負担制度を改定し、職群班班長制度を実施してまいります。又、昨年度と同等の講習会や研修会を開催致します。

1. 重点事業計画推進の具体的方針

(1) 新規入会会員の拡大

毎月20日を基準とした入会説明会開催、新聞折り込みによる募集、剪定講習会への一般市民参加により会員確保に努めます。加えて、追加説明会を実施などの、新たな取組を検討致します。

(2) 就業先提供と就業会員確保

- ① 会員への募集案内、ホームページの活用、職群班への案内など、わかりやすく、密度の濃い就業案内を行ってゆきます。
- ② 応募が少ない就業について、会員による情報提供実施や理事等役員による就業会員確保に務め、受注に対応します。

③班長手当制度の運用により、職群班の活動を活発化し、就業拡大に努めます。又、剪定班員減少と受注を両立する為、受注予約を本年度もおこないます。

④新聞折り込み、会員からの情報、企業訪問などで、新規就業先の確保に努めます。

(3) 生活支援事業の推進

女性会員増により家事支援会員を増強し、家事支援講習会を例年通り開催し、同時に就業開拓をおこないます。

(4) 職群班の増強

班長手当制度の運用により、職群班の活動を活発化し、就業拡大に努めます。

又、剪定班員減少と受注を両立する為、受注予約を本年度もおこないます。

(5) 会員の安全就業の徹底

①就業事故ゼロに向けて安全委員会の開催し、就業時における基本的安全対策の徹底（安全・適正就業基準）と7月と11月に安全、適正就業推進月間を実施します。

②野外作業の事故防止に向けて、安全講習会の開催や服装・保護具や防止具の導入や日常確認を実施します。

③交通安全の推進に向けて、情報の発信や交通安全教室を実施します。

④適正な受託と就業の為に、発注者や会員と共に適正就業を評価し、改善を実施してゆきます。

(6) 平成30年度制度改定

<会員>

①平成30年度会費を年額3000円から、2400円へ改定します。

②損害保険料の会員負担を、配分金の0.2%の徴収を停止します。

又、損害事故自己負担金額を1000円から5000円へ改定します。

③職群班班長手当制度を制定します。(月額1000円と班就業 10円/1時間)

2. 具体的開催活動・行事

(1) 講習会・研修活動

- 機械器具安全講習会
- 雑木・垣根などの剪定講習会

- 会員研修会
- 交通安全講習会
- 家事支援講習会
- 松の剪定講習会
- しめ縄づくり講習会
- 果樹剪定（栗）講習会
- 襖・障子張替講習会

(2) 会員の交流と健康増進のための活動

- 同好会活動の推進
- グランドゴルフ
- より多くの会員が参加する会員親睦旅行を企画する。

(3) 社会貢献活動の為の活動

- 今田支所周辺雑木剪定作業
- 篠山城跡周辺草刈・草引き奉仕作業
- 城跡周辺松の剪定作業

(4) 今後の活動推進のための活動

- 先進地視察の実施